

いっばんしつもん

芝桜公園について

市民クラブ 江田 治雄

問 年々来場者が減る傾向にあるが、その要因は。また、年間の管理費は。更に今後の展開は。

答 今年は開花時期前半の天候不順により、開花の遅れなどにより予想以上にばらつきがあった。また、関東圏内に同種の公園が整備され、競合し来場者が減少した。年間の管理費は苗の購入・植え替えや、土壌改良などで1億5千万円ほどかかる。今年は、連休の時に入場時間などの問題で、お客様に迷惑をかけた。今後とも来園者の増加に努めるほか、管理面では民間委託なども視野に入れて検討する。

●公園について

問 浦山地区の公園が無い事を知った。市内で公園の無い地区は他にも存在するのか。

答 多くの市町では、法務局の公図を複製し、サービスの一環として、住民の請求により、有料で写しを交付している。浦山地区の公図で、地番により法務局にあるが、約半分以上の公図が存在しない。法務局では、存在しない公図を作成するには、膨大な費用と長期間

を要するため現時点では考えていない。また、吉田地域内で13件、大滝地域内で77件ある。市として積極的に国へ要望する。



発信機を取り付けている様子

- ◎小中学校の地デジ化の問題
- ◎市立図書館の今後の計画
- ◎シリーズ有害鳥獣対策の問題

「秩父市の木」について

彩政会 新井 豪

問 合併以来「市の木」は「カエデ」となっており、市の良きシンボルとなっている。しかし、市内の幼稚園や小中高の学校の校章に多く用いられ、公園の並木、秩父神社を象徴する木、そして、古語では「ちちのき」と言い、「ちちぶ」という地名の語源とされる木こそ、合併によって姿を消された旧秩父市の木「イチヨウ」である。カエデと並べ「イチヨウ」を市の木として復活させるべきでは。

答 「市の木」に2つ目を追加するか、「市民の木」として選定するか、幅広く意見を聴き検討する。

●ちちぶコミュニティFMラジオ放送

問 地域密着した観光、商業、生活、行政、防災といった情報を発信できるコミュニティFMラジオ放送局の開設に向けた、現在の市の取り組み状況は。

答 昨年度末、開設した神奈川県清川村のコミュニティFM局等を視察調査し、研究を進めている。

●「子ども手当て」

問 給食費等の滞納者に対しては

口座振込でなく、窓口での現金支給とし、そこで滞納金の納付相談をするべきでは。

答 保育料滞納者の数名には現金支給とした。給食費滞納者には、手当支給にあわせて学校長や教育委員等の家庭訪問を実施し、納入のお願いをしている。



秩父神社のイチヨウの木

- ◎スポーツの森へのテニスやパターの全国大会誘致
- ◎芝桜公園の開園時間について
- ◎コミュニティ・ワンセグ放送局開設の提案

いっぱんしゅもん

「教育」について

市民クラブ 落合 芳樹

問 抽出調査になった全国学力テストの実施状況は。

答 当市では小学校2校、中学校1校が抽出校として4月20日に実施した。その他の学校も希望参加した。

問 夏休みの期間は。

答 昨年度と同様に6校が前半を短縮し、その他の17校は後半を短縮する。

●「子ども施策」について

問 認定子ども園の種類と現状は。

答 幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4種類ある。現在当市では1園が認定を受け、今後幼保連携型のこども園が3か所増える予定で、国は今後、幼児教育と保育をともに提供する「こども園」に一本化するように検討を進めている。

●「森林・林業」について

問 公共建築物の木造化の必要性和当市の取組みは。

答 木造建築物は癒しの効果・断熱性・紫外線を吸収する効果が高い。木造利用促進法が成立し、当市では「秩父産木材利用検討会」



利用間伐作業の様子

◎子ども手当について

を立ち上げた。市が主体的に秩父産木材の利用にかかわり、地域産業の振興に繋げていきたい。

問 水源林の売買の実態は。

答 県内では確認されていない。

問 地下水の権利はどうなっているか。

答 国の各省庁で議論が行われているが、法文上の定めがない。

観光立市とおもてなしの心について

市民クラブ 浅海 忠

進していく。

●大滝地区小中学校の統廃合

問 児童・生徒数が激減している状況で保護者や地元町会とよく協議・議論をしてほしいがどうか。

答 保護者や地元の皆様、学校現場等から意見をいただき慎重に協議・検討していく。

問 サイクルトレインの成果と課題・駅周辺の受け入れ体制。

答 サイクルトレインは大掛かりなイベントなので今後実行委員会から民間企業主体の開催としたい。また、経済効果拡大のため宿泊を含む滞在型イベントでの開催を検討したい。受け入れ体制として、西武秩父駅前の「秩父観光情報館」に無料更衣室・コインロッカー・自転車空気入れ等を完備した。今後、道の駅等に自転車スタンドの設置や自転車整備用品の配備・主要駅付近でのシャワー施設の整備をし、「自転車のまち秩父」を推

進していく。



ミュージックパーク・スカイロードの風景

いっばんしつもん

口蹄疫対策について

日本共産党秩父市議団 新井 康一

問 県北でもすでに早い時期に消毒用の消石灰を対象畜産農家に配布した自治体がある。後手に回らないよう予防対策をとる必要がある。野生のシカ・イノシシに感染したら拡大を防ぎようがない。疑いのある家畜が発見された場合の通報体制と検査の体制は。

答 6月9日に市内44の全畜産農家に消石灰を無料配布した。県熊谷家畜保健衛生所の指導の下で異常の早期通報・正確な情報の伝達・関係者以外の畜舎の出入りの抑制・消毒の徹底を行なっている。野生動物対策としては畜舎内外の消毒の徹底と、畜舎に近寄らせない対策が重要と考える。

また県では定点モニタリング調査を実施し、異常の有無の聞き取り調査をしている。

問 発生した場合は総て殺処分するとのことだが、埋める場所の確保や通行車両消毒体制、移動制限や搬出制限等の対応は。

答 6月9日県熊谷家畜保健衛生所で口蹄疫連絡調整会議が開かれ、防疫措置対応マニュアルに基づき、関係機関と初期・初動対応等できるように連携等調整を図っている。

●高齢者施設の防火対策

問 平成18年の長崎県大村市の認知症高齢者グループホームの火災を契機に消防法施行令が一部改正された。指導体制・整備状況と基準に満たない小さな施設への指導はどうなっているのか。

答 グループホームのスプリンクラーについては未設置の1施設が今年度交付金で設置予定。有料老人ホームでは1施設が未設置。基準未達の小規模施設についても国が補助を予定している。



◎市道の改良と安全対策

口蹄疫についての報道記事

重要有形民俗文化財の保存管理について

彩政会 松澤 一雄

問 笠鉾、屋台の修理等の復元新調に対する材料調達に基金制度等を設けて対応できないか。

答 文化財保護のため、入手難な部材の調達方法は重要なので、基金等の創設を含め、財政状況を念頭に屋台町会の意見を聞いて前向きに検討する。

●歴史文化伝承館等の活用について

問 歴史文化伝承館建設の目的に沿って市民の皆様を順次夜祭りの観覧の場に提供できないか。

答 伝承館の2階から夜祭りが観覧できるようプロジェクトチームを創設し、観覧についての安全性等の方策を検討し、今年度から夜祭りを観覧できるよう進める。

問 市民に親しまれた旧大宮学校の再現活用の方え方について

答 旧大宮学校は、市民の深い愛着と長い歴史と風貌を持ち、学校としての役目が終わっても多くの活用機会が与えられた建物であり、今後、復元の方法や活用方法を研究し、前向きに検討する。

●市の財政状況について

問 合併後の各財政指数の推移とその時点における財政状況の良否を示し、今後の財政運営をどのように考えるか。

答 合併後の各種の財政指数によれば、一部の指数は望ましい方向に動いているが、財政構造の弾力性を示す経常収支比率や経常一般財源比率の数値が硬直化を示すことから、今後の財政運営は、将来を見据えた健全運営の基に市民の要望に応える予算編成に努める。



秩父夜祭の風景

いっぱんしつもん

市立病院循環器内科開設の成果

新井 重一郎

問 ①開設後6か月間の患者数。
②高度医療機関への紹介数。③循環器内科で何処までの治療を行うか。

答 ①外来347人、入院60人合計407人。②54人。③心臓カテーテル手術は現状では不可能。高度医療機関との連携を密にし、現状に見合った役割を果たしていく。

●新市長一年、市民サービスへの変化

問 市長ふらっとミーティングの①回数、参加者。②内容。③どのように生かされたか。④今後の予定。

答 ①今年5月まで10回、600人以上。②地域密着型の要望多し。③現地調査ですぐ対応したもの、予算化し事業着手したもの。迅速に対応するため各総合支所所管の新年度予算に「地域生活環境整備工事」として各300万円を予算処置した。④新たな形で続ける予定。

問 新設すぐやる担当の①目的。②担当者数、予算。③今までの相談件数。

答 ①お困り苦情電話相談に可能

な限り即刻対応し処置する。②3名、予算なし。③今年5月まで168件。

●理科おもしろ実験教室について

問 ①今年度の特徴は。②参加対象者と募集定員は。③実施日と場所。

答 ①児童の他に教員も募集。「めざせ秩父ジョッキーズ」とセットで実施。②小学3～6年生とその保護者、50名。③7月18日、教育研究所。8月7日、市内荒川流域。



秩父市立病院

◎市の地質、歴史、伝統産業などを市の活性化に結びつける方策
◎抽出方式による全国学力テスト

子宮頸がんワクチン接種補助

日本共産党秩父市議団 出浦 章 恵

問 3月議会の質問で、中学生に対して接種補助をするよう提案したが、消極的な答弁だった。その後、接種補助をする自治体が増え、全国的な流れとなっている。新聞、テレビでも取り上げられ積極的に女性の命を守る取組みが進められている。再度、当市の見解は。

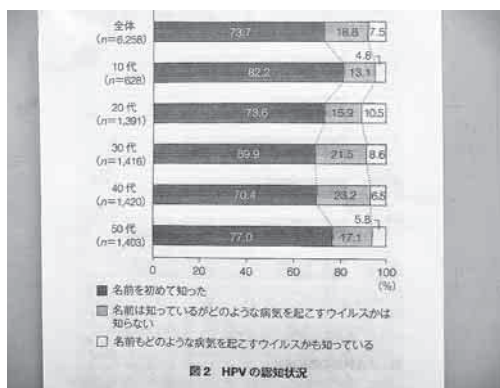
答 志木市、北本市が実施中で、川越市、寄居町が年度内実施を検討中。当市の今年度5月末現在の小学6年生と中学3年生までの女子の合計人数は1千3百30人。公費補助実施は、その対象年齢や補助金額等について今後、財政当局及び郡市医師会等と調整を図り、早期実施に向け検討していく。

●病中・病後児保育

問 何度も質問したがいまだに実施の見込みすら無い。以前から手を挙げてくれている市内医療機関との話し合いも持たれたが、これまでの経過を見ると、当局からはいまひとつ本気でやる気を感じられない。国・県からの予算付けがあれば良い事は言うまでもないが、市独自でもやろうと言う気概が市長からも伝わってくるものが無い。

この間、どう努力してきたのか。

答 市民から要望も多く大変重要な子育て支援策の一つと認識している。1市4町との共同で定住自立圏の「子育て支援ワーキンググループ」で本年3月議会で協定を締結した。今後もご協力いただける医療機関等と協議を重ねると共に、看護師や保育士の配置、施設改修費等の課題を一つ一つクリアし、早期実施に向け前に進んでいく。



子宮頸がんに関する認知度調査

◎就学援助費制度について